



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月12日

上場会社名 東京テアトル株式会社

上場取引所 東

コード番号 9633 URL <https://www.theatres.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）太田 和宏

問合せ先責任者 （役職名）取締役常務執行役員管理本部長 （氏名）松岡 毅

T E L 03-3355-1010

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	4,806	7.8	4	—	81	141.7	2,561	302.6
2026年3月期第1四半期	4,460	12.3	△8	—	33	—	636	△74.7

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 2,948百万円（293.8％） 2026年3月期第1四半期 748百万円（△74.6％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	378.14	—
2026年3月期第1四半期	92.28	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	33,862	19,583	57.8	2,887.98
2026年3月期	30,078	16,769	55.7	2,472.38

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 19,563百万円 2026年3月期 16,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	19,800	△4.1	300	△10.3	350	△13.7	2,700	223.7	394.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	8,013,000株	2026年3月期	8,013,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,238,803株	2026年3月期	1,238,803株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	6,774,197株	2026年3月期1Q	6,895,705株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、四半期決算短信【添付資料】3ページの「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

2027年3月期第1四半期連結累計期間（以下「当四半期」といいます。）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復基調を維持したものの、中東情勢の影響には引き続き注視する必要があります、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当四半期の連結業績は、中古マンション再生販売事業が増収となったことから、売上高は4,806百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は4百万円（前年同期は営業損失8百万円）、経常利益は81百万円（前年同期比141.7%増）となりました。

また、当四半期において、固定資産売却益3,650百万円を特別利益に計上いたしましたため、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,561百万円（前年同期比302.6%増）となりました。

■連結経営成績（百万円）

	前年同期	当四半期	増減
売上高	4,460	4,806	+345
営業損益	△8	4	+12
経常利益	33	81	+47
親会社株主に帰属する四半期純利益	636	2,561	+1,925

セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

■セグメント別外部売上高（百万円）

売上高	前年同期	当四半期	増減
映像関連事業	909	708	△201
飲食関連事業	1,476	1,574	+98
不動産関連事業	2,074	2,523	+448
計	4,460	4,806	+345

■セグメント別営業損益（百万円）

営業損益	前年同期	当四半期	増減
映像関連事業	△137	△142	△4
飲食関連事業	56	42	△13
不動産関連事業	290	349	+58
調整額	△218	△244	△26
計	△8	4	+12

<映像関連事業>

(映画興行事業)

当四半期は『炎上』『オールド・オーク』などが高稼働いたしました、前期に1館2スクリーンを閉館した影響から前年同期比で減収となりました。

当四半期末の映画館数及びスクリーン数は、前年度末から変わらず6館16スクリーンです。

(映画制作配給事業)

当四半期は『未来』映画『それいけ！アンパンマン パンタンと約束の星』『モブ子の恋』の3作品を配給いたしました、配給収入が前年同期を下回り、売上高は前年同期比で減収となりました。

(ソリューション事業)

セールスプロモーションの受注は減少しましたが、シネアドや交通広告の受注が増加したことから、前年並みの売上高となりました。

以上の結果、映像関連事業の売上高は708百万円（前年同期比22.2%減）となり、営業損失は142百万円（前年同期は営業損失137百万円）となりました。

<飲食関連事業>**(飲食事業)**

当四半期は、飲食店2店舗を都内に新店舗を出店したことから、前年同期比で増収となりました。

■飲食店・販売店の店舗数

	前年度末	当四半期末	増減
焼鳥専門店チェーン「串鳥」	36	36	0
その他	11	13	+2
飲食店 合計	47	49	+2
販売店 合計	7	7	0

以上の結果、飲食関連事業の売上高1,574百万円（前年同期比6.7%増）となりましたが、原材料費や人件費の増加から営業利益は42百万円（前年同期比24.7%減）となりました。

<不動産関連事業>**(不動産賃貸事業)**

きめ細かいリーシング活動により賃貸物件が100%近い稼働率を維持し、前年同期並みの売上高となりました。

(中古マンション再生販売事業)

東日本不動産流通機構（東日本レインズ）によりますと、当四半期の首都圏の中古マンション市場は、成約件数は前年同期比で減少し、成約価格はほぼ横ばいとなりましたが、当社グループにおきましては、当四半期は物件販売件数が大きく伸長し、前年同期比で大幅な増収となりました。

以上の結果、不動産関連事業の売上高は2,523百万円（前年同期比21.6%増）、営業利益は349百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当四半期末の資産合計は、前年度末と比べて3,784百万円増加し、33,862百万円となりました。これは、現金及び預金が578百万円増加したこと、販売用不動産が465百万円増加したこと、土地が2,083百万円増加したこと、投資有価証券が566百万円増加したこと等によるものです。

負債合計は、前年度末と比べて971百万円増加し14,279百万円となりました。これは、短期借入金が増加したこと、繰延税金負債が増加したこと、前受金が増加したこと、賞与引当金が増加したこと、長期借入金が増加したこと等によるものです。

純資産合計は、前年度末と比べて2,813百万円増加し、19,583百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したこと、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月13日付「2026年3月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,334,783	4,912,989
受取手形、売掛金及び契約資産	583,141	553,494
商品	347,544	188,177
販売用不動産	3,041,771	3,506,925
貯蔵品	36,805	43,342
その他	652,370	522,586
貸倒引当金	△12,091	△12,000
流動資産合計	8,984,324	9,715,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,231,269	3,242,794
機械装置及び運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	274,778	264,396
土地	12,694,840	14,778,200
リース資産（純額）	135	33
建設仮勘定	14,400	441,932
有形固定資産合計	16,215,424	18,727,357
無形固定資産		
ソフトウェア	35,832	32,698
無形固定資産合計	35,832	32,698
投資その他の資産		
投資有価証券	4,289,228	4,856,184
差入保証金	367,480	372,382
繰延税金資産	81,532	61,581
その他	141,560	128,523
貸倒引当金	△37,315	△31,615
投資その他の資産合計	4,842,486	5,387,056
固定資産合計	21,093,743	24,147,112
資産合計	30,078,068	33,862,627

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	876,199	852,536
短期借入金	40,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	1,260,873	1,276,802
リース債務	150	37
未払金	504,407	450,655
未払法人税等	264,607	254,134
前受金	423,179	236,397
賞与引当金	216,911	134,027
その他	496,311	493,730
流動負債合計	4,082,641	4,018,322
固定負債		
長期借入金	4,321,834	4,173,898
長期預り保証金	815,938	896,203
繰延税金負債	1,756,204	2,840,777
再評価に係る繰延税金負債	875,721	875,721
退職給付に係る負債	999,794	1,016,815
資産除去債務	455,943	457,875
固定負債合計	9,225,436	10,261,291
負債合計	13,308,078	14,279,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,552,640	4,552,640
資本剰余金	3,735,937	3,735,937
利益剰余金	6,374,986	8,801,093
自己株式	△1,599,515	△1,599,515
株主資本合計	13,064,048	15,490,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,826,983	2,216,210
土地再評価差額金	1,857,368	1,857,368
その他の包括利益累計額合計	3,684,352	4,073,579
非支配株主持分	21,588	19,277
純資産合計	16,769,989	19,583,012
負債純資産合計	30,078,068	33,862,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,460,240	4,806,016
売上原価	3,311,776	3,522,204
売上総利益	1,148,464	1,283,811
販売費及び一般管理費		
役員報酬	64,574	69,225
広告宣伝費	7,889	12,610
人件費	546,762	589,126
賞与引当金繰入額	77,197	91,951
退職給付費用	16,343	15,971
賃借料	78,007	80,795
水道光熱費	46,314	46,395
貸倒引当金繰入額	6,283	—
その他	313,948	373,604
販売費及び一般管理費合計	1,157,319	1,279,680
営業利益又は営業損失(△)	△8,855	4,131
営業外収益		
受取利息	44	59
受取配当金	65,143	93,602
貸倒引当金戻入額	—	5,791
その他	2,030	5,156
営業外収益合計	67,219	104,609
営業外費用		
支払利息	23,320	25,096
借入関連費用	1,027	732
その他	142	1,039
営業外費用合計	24,491	26,868
経常利益	33,872	81,872
特別利益		
固定資産売却益	872,442	3,650,968
特別利益合計	872,442	3,650,968
特別損失		
固定資産除却損	3,063	2,503
事業所閉鎖損失	1,048	61
特別損失合計	4,111	2,565
税金等調整前四半期純利益	902,203	3,730,275
法人税、住民税及び事業税	127,616	244,201
法人税等調整額	139,587	926,794
法人税等合計	267,204	1,170,995
四半期純利益	634,998	2,559,279
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,317	△2,311
親会社株主に帰属する四半期純利益	636,316	2,561,591

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	634,998	2,559,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113,757	389,226
その他の包括利益合計	113,757	389,226
四半期包括利益	748,756	2,948,506
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	750,073	2,950,818
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,317	△2,311

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	87,117千円	81,303千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	映像関連事業	飲食関連事業	不動産関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	909,781	1,476,034	2,074,423	4,460,240	—	4,460,240
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,560	1,134	1,222	3,917	△3,917	—
計	911,342	1,477,169	2,075,646	4,464,158	△3,917	4,460,240
セグメント利益 又は損失(△)	△137,640	56,387	290,597	209,344	△218,199	△8,855

(注) 1 セグメント利益の調整額△218,199千円には、セグメント間取引消去△1,438千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△216,761千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	映像関連事業	飲食関連事業	不動産関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	708,050	1,574,745	2,523,220	4,806,016	—	4,806,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,554	1,952	1,367	4,874	△4,874	—
計	709,605	1,576,697	2,524,588	4,810,890	△4,874	4,806,016
セグメント利益 又は損失 (△)	△142,633	42,470	349,246	249,083	△244,952	4,131

(注) 1 セグメント利益の調整額△244,952千円には、セグメント間取引消去△1,773千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△243,178千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。